

報告書目次

1. 本年度活動事項概要	P.3	6. 関連統計データ集	P.182
● 背景と目的	P.4	● 輸出額の推移	P.183
● 実施事項概要	P.5	● 品目別輸出増減	P.187
● 事業実施体制・委員一覧	P.7	● 各国輸入状況と日本のシェア	P.189
● スケジュール(全体)	P.9	● 青果物に関する品目別輸出の動向	P.200
		● 加工食品の輸出額推移	P.214
2. 各品目部会における活動概要	P.10	【別紙】 野村総研の調査・検討結果資料	
● コメ・コメ加工品部会	P.12	● コメ・コメ加工品	
● 青果物部会	P.38	・ 日本酒輸出の優良事例(日本語/英語)	(A)
● 花き部会	P.58	・ 海外における清酒メーカーの動向	(B)
● 茶部会	P.74	・ 輸出される日本酒の価格構造	(C)
● 牛肉部会	P.88	・ 輸送中の日本酒の取り扱い	(D)
● 林産部会	P.100	・ 米菓の新商品アイデア	(E)
● 水産部会	P.115	● 青果物	
● 加工食品部会	P.125	・ 多品目周年供給体制に関する事例調査	(F)
● 畜産物輸出戦略検討会	P.133	・ 香港における流通構造等に関する調査	(G)
		・ EU・米国における青果物残留農薬基準等の設定・申請調査	(H)
3. テーマ別部会における活動概要	P.140	● 茶	
● 物流部会	P.142	・ 海外の茶輸出促進団体に関するベンチマーク調査	(I)
● 輸出環境課題部会	P.146	● 牛肉	
● FSMA部会	P.152	・ 牛肉輸出におけるハラール以外の規制等の調査	(J)
● ハラール部会	P.156	● 林産	
● 卸売市場部会	P.160	・ 国内くん蒸の現状把握	(K)
		・ 中国におけるくん蒸の現状把握	(L)
4. 地方ブロック意見交換会	P.165	● 品目横断	
● スケジュール	P.167	・ 海外の輸出促進団体に関するベンチマーク調査	(M)
● 地方ブロック意見交換会での意見	P.168	・ 日本食のプロモーション事例・現地パートナー調査	(N)
		● 物流	
5. 海外からの担当官招聘	P.174	・ 農林水産物・食品輸出の手引き	(O)
● 招聘スケジュール	P.176	● FSMA	
● 招聘概要	P.177	・ FSMAメールマガジン登録時アンケート	(P)
		● ハラール	
		・ ハラール食品輸出取組事例	(Q)
		● 卸売市場部会	
		・ 卸売市場を活用した輸出戦略案	(R)

2.各品目部会における活動概要

- 平成27年度 輸出戦略実行事業では、品目部会・分科会を設置し、農林水産物・食品の輸出拡大に向けた検討を行った。
- 品目部会・分科会では、輸出団体による輸出拡大の取り組みを報告するとともにその検証を行い、必要に応じて野村総研による調査・検討結果の報告、更にその他委員からの輸出環境課題に関する報告とその解決にあたっての検討が行われた。
- 第一回会議の多くは、第一回実行委員会が実施された直後の6月に開催され、平成27年度における取組事項の確認と検証のポイントが機論された。
- その後、7～8月に全国各地で行われた地方ブロック意見交換会の終了後の9～10月にかけて第二回会議が開催され、地方ブロック意見交換会にて把握された輸出拡大に向けた課題の報告、また、それぞれの活動の中間報告がなされ、その上で、農林水産物・食品の輸出拡大に向けた検討および、下期にかけての輸出拡大の取り組みの確認が行われた。
- また、1～2月には、本年度の活動および来年度に向けた取り組みを議論する第三回会議が開催された。
- 品目部会・分科会の開催にあたっては、輸出団体の取り組みや野村総研の調査、また輸出環境課題の取り組み内容の進捗等をPDCA サイクルの考え方にとって検討・検証できるようにPDCAシートを作成し、議論が実施された。